

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月12日

計画の名称	17 安心・安全な通学路の整備（防災・安全）									
計画の期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度（5年間）			交付対象		弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、つがる市、七戸町、横浜町、階上町				
計画の目標	通学路交通安全プログラムにおける対策必要箇所の対策実施率を向上させる。									
計画の成果目標（定量的指標）	要対策箇所の対策実施率100%									
定量的指標の定義及び算定式	$\text{要対策箇所の対策実施率（通学路の要対策箇所の整備率）} = (\text{要対策箇所を解決した箇所数}) \div (\text{要対策箇所数}) \times 100\%$									
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,078 百万円	A	1,078 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
取りまとめ団体である弘前市建設政策課内において実施	平成31年3月
	公表の方法
	交付対象各市町村のホームページにて公表

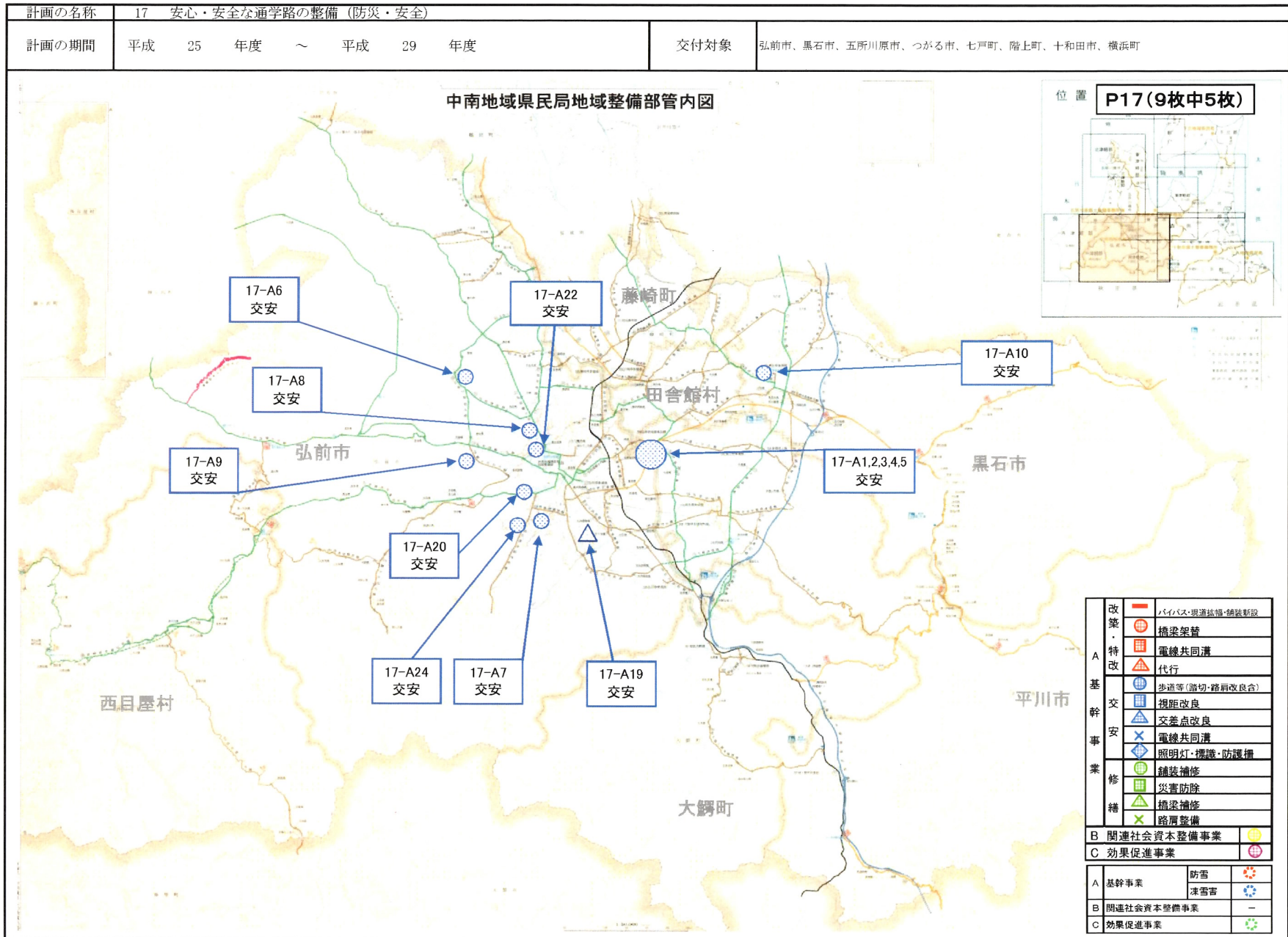
1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29			
17-A1	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 福田境開線	福村小学校 人道橋 L=30m	弘前市			73				73	
17-A2	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 福田境開線	福村小学校 路側帯カー化 A=546m ²	弘前市							0	
17-A3	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 福田境開線	福村小学校 視距改良 N=1箇所	弘前市			3	5			8	
17-A4	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 福田境開線	福村小学校 交差点改良 N=1箇所	弘前市		4	7				11	
17-A5	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 福田境開線外	福村小学校 区画改良 L=10.0km	弘前市							0	
17-A6	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 独狐富栄線	船沢小学校 防護柵 L=0.5km	弘前市	22						22	
17-A7	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 富田樹木線	大成小学校 踏切改良 N=1箇所	弘前市				1	53		54	
17-A8	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 浜の町藤代線	致遠小学校 歩道設置 L=80m	弘前市			6		49		55	
17-A9	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(1) 岩木小5号線	岩木小学校 歩道設置 L=0.9km	弘前市				18	6		24	
17-A10	道路	一般	黒石市	直接		市町村道	交安	(1) 黒石高田線	黒石小学校 路肩改良 L=0.2km	黒石市	9	15	10	49			83	
17-A11	道路	一般	五所川原市	直接		市町村道	交安	(1) 広田・尻無線	松島小学校 自歩道設置 L=0.4km	五所川原市	18	140	34				192	
17-A12	道路	一般	つがる市	直接		市町村道	雪害	(1) 森田中学校線	森田小学校 無散水消雪施設 L=0.25km	つがる市	81	16					97	
17-A13	道路	一般	七戸町	直接		市町村道	交安	(1) 中野・森ノ上線	天間西小学校 歩道設置 L=0.96km	七戸町	9	44	32	32			117	
17-A14	道路	一般	階上町	直接		市町村道	交安	(他) 役場前・耳ヶ峯線	赤保内小学校 歩道設置 L=0.5km	階上町	30						30	
17-A15	道路	一般	階上町	直接		市町村道	交安	(2) 大渡・石鉢線	石鉢小学校 歩道設置 L=1.5km	階上町							0	
17-A16	道路	一般	階上町	直接		市町村道	交安	(1) 道仏・八森線	道仏小学校 交差点改良 N=1箇所	階上町							0	
17-A17	道路	一般	階上町	直接		市町村道	交安	(他) 着前(南)線	石鉢小学校 交差点改良 N=1箇所	階上町							0	
17-A18	道路	一般	階上町	直接		市町村道	交安	(他) 大蛇踏切・追越浜線	大蛇小学校 現道拡幅 L=0.55km	階上町		10	23	26	15		74	
17-A19	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(2) 安原広野線	千年小学校 交差点改良 N=1箇所	弘前市			24	30			54	
17-A20	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(他) (仮称) 茂森新町4号線	朝陽小学校 新設 L=45m	弘前市				6	27		33	
17-A21	道路	一般	十和田市	直接		市町村道	交安	(1) 高清水大下内線ほか1路線	高清水小学校 歩道設置 L=0.4km	十和田市			11	26	72		109	
17-A22	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(他) 袋町線ほか1路線	城西小学校 路側帯カー化 L=600m	弘前市				10			10	
17-A23	道路	一般	横浜町	直接		市町村道	交安	(他) 新町旭町線	横浜小学校 踏切改良 N=1箇所	横浜町					32		32	
17-A24	道路	一般	弘前市	直接		市町村道	交安	(他) 小沢大開1号線	小沢小学校 歩道設置 L=140m	弘前市							0	
											小計（道路事業）					1,078		
											合計					1,078		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
										合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
										合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		平成24年度に実施した緊急合同点検により抽出された要対策箇所のうち、通勤・通学のための安全な歩行空間が確保された路線が増加した。								
II 定量的指標の達成状況	指標① (要対策箇所の 対策実施率)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	用地買収及び鉄道事業者との協議に不測の日数を要したため					
		最終実績値	63%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 踏切の拡幅により通学児童の安全確保が図られたほか、冬期間も交通の円滑化が図られた。 歩道空間の確保及び県事業（他整備計画）との合同での交差点改良により、円滑な交通処理かつ道路交通の安全性が向上した。 								
3. 特記事項（今後の方針等）										
継続事業については他事業に移行の上、引き続き事業の進捗を図る。										

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面



安心・安全な通学路の整備(防災・安全)

事業主体 弘前市ほか
 計画期間 H25～H29
 (※一部H30に繰越)

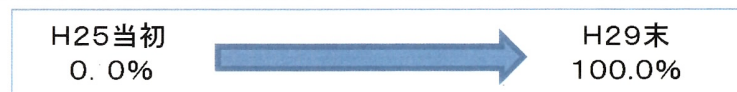
■計画の概要

目的

通学路交通安全プログラムにおける対策必要箇所の対策実施率を向上させる。

成果目標

① 要対策箇所の対策実施率 ※1要素事業毎に1対策箇所



事業内容

平成24年度に実施した通学路における緊急合同点検に基づき、通学児童の安全確保を図るため、歩道の設置、交差点改良、踏切改良等を実施。

代表 工 区	➢ 広田・尻無線 自歩道設置 L=0.40km
	➢ 中野・森ノ上線 歩道設置 L=0.96km
	➢ 黒石高田線 路肩改良 L=0.20km

■事後評価の結果

事業実績

- 事業数による進捗 【計画全体24事業】
 着手率 83%(20事業)、完了率63%(15事業)
- 完成した代表事例
 富田樹木線 踏切改良 N=1箇所(H29事業完)



施工前



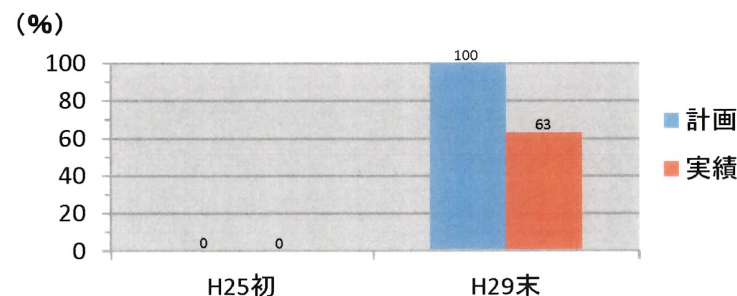
施工後

整備効果

狭小で歩行者の通行に支障をきたしていた踏切を拡幅することにより、通学路における安全な歩行空間が確保され、通学児童の安全性が向上した。

成果目標の主な達成状況(H29末)

要対策箇所の対策実施率 ※1要素事業毎に1対策箇所
 = (通学路の要対策箇所の整備率) = (要対策箇所を解決した箇所数) ÷ (要対策箇所数) × 100%



■今後の方針

本計画はH29末で完了(一部H30繰越)となったが、継続事業については他事業に移行の上、引き続き事業の進捗を図る。